

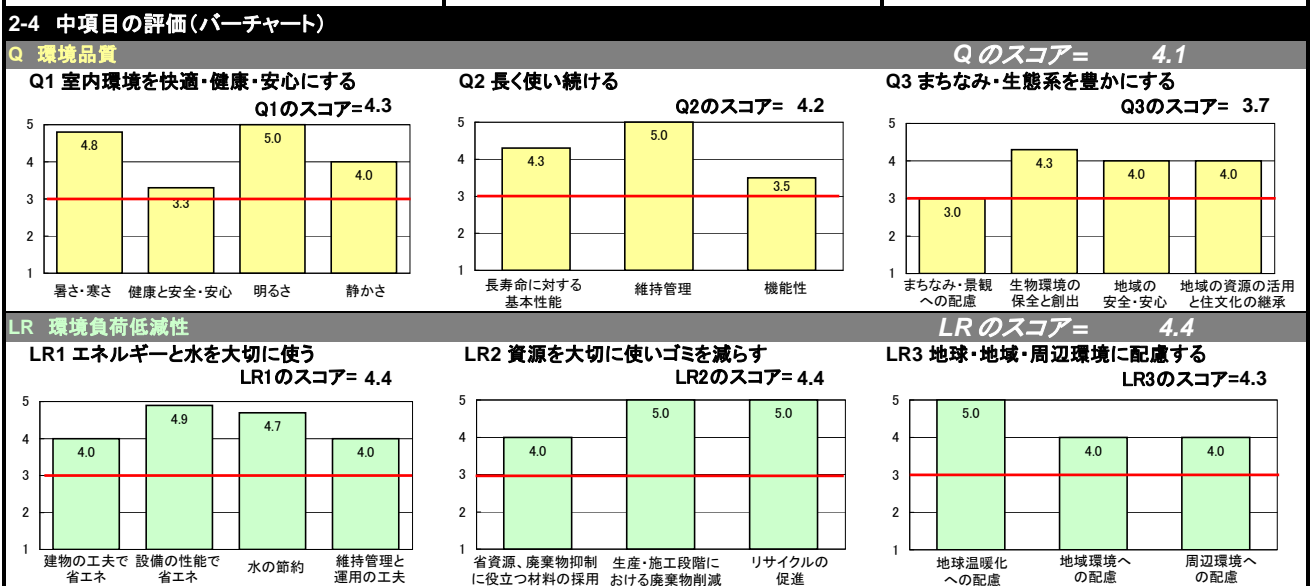
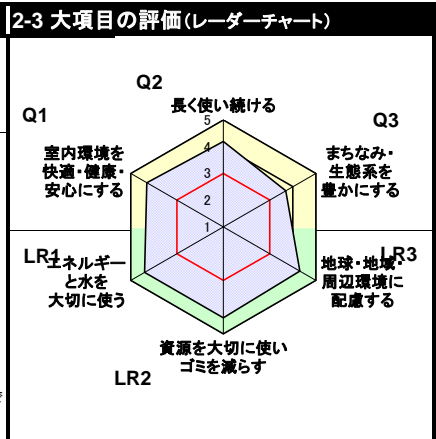
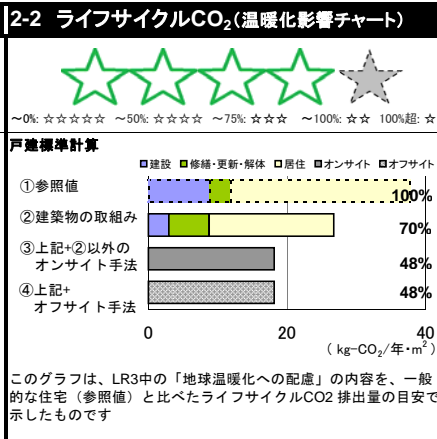
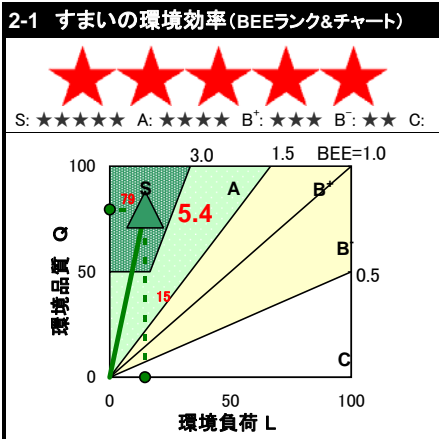
CASBEE[®] 戸建-新築

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	須田様邸新築工事	仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 確定 確定	
竣工年月	2012年5月	竣工			
建設地	埼玉県川口市芝西1丁目	<備考>			
用途地域	第二種住居地域				
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	木造在来軸組工法				
階数	3				
敷地面積	116 m ²	評価の実施日	2013年5月18日		
建築面積	66 m ²	作成者	小宮 光太		
延床面積	184 m ²	確認日	2013年1月29日		
世帯人数	2	確認者	小宮 光太		



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>●周辺家が建ち並ぶ住宅地の中で出来る省エネで環境負荷を低減した家づくりを目指した ●トリプルガラス、ダブルLow-E・アルゴン入りサッシや熱交換換気を採用し冷暖房効率を高めた</p>	<p>●建築環境性能を高める様に進める中で、住まい手の意識も向上した</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>●IV地域でQ値2.1以下の断熱性能 ●日射侵入率0.32のトリプルガラスの日射遮蔽 ●各居室2方向開口 ●地熱利用のHPエアコンの適切な冷暖房 ●化学汚染物質、昼光利用、静かさは性能評価書にて証明 ●補助ロック付サッシ、2ロック玄関T</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>●劣化、耐震、耐火、警報、維持管理、高齢者配慮は性能評価書にて証明 ●外壁・陸屋根共に乾式方法金属系を採用し交換時の配慮 ●定期的な点検補修・追跡調査出来る維持管理体制 ●入居数2名で広さ・収納・設備が充実</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>●地熱利用「ジオシステム」で高効率の冷暖房・給湯システムを採用 ●断熱外皮の内側に断熱浴槽 ●台所・浴槽に節湯水栓 ●照明・家電・厨房機器の取組み ●DCモーターの24時間熱交換換気システム ●雨水タンク設置 ●省エネナビ採用 ●太陽光発電システム採用で省エネルギー率4値0.3</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>●構造材のすべてにCOC認証材 ●高炉セメント採用 ●省資源・廃棄物抑制に役立つ内外装材 ●副産物の発生抑制した生産・施工体制 ●住まい手への使用材料情報提供</p>
<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>●ライフサイクルCO₂排出率47% ●雨水タンクや緑地浸透での雨水排水抑制 ●既存の地形・樹木の保全 ●地熱利用「ジオシステム」で騒音・排熱抑制 ●緑化面積による周辺温熱環境の改善</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (すまいの環境品質)、L: Load (すまいの環境負荷)、LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (すまいの環境効率)

■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE戸建-新築の場合、BEE_{IV}、Q_{IV}、LR_{IV}などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_{IV}、LR_{IV}中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)

■ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO₂計算」シートを参照されたい